



ワールドハンディキャップシステムが 2020 年スタート

2019年11月4日、セントアンドリュース（スコットランド）およびリバティーカーナー（米国ニュージャージー州）：ワールドハンディキャップシステム（WHS）が、いよいよ 2020 年にスタート。世界中のゴルファーに、より多くの人々が使える世界統一のハンディキャップシステムを提供します。

多くの国々が来年 1 月に新システムの施行を開始しますが、地域毎のゴルフシーズンや導入計画の違いに対応し、2020 年末までに世界中で新システムへの移行が完了する予定です。

既存のハンディキャップ制度運用団体との緊密な連携により R&A と USGA が開発した WHS は、すべてのゴルファーに対して均一なプレー技量の判定尺度を提供し、ゴルファーのハンディキャップは、全世界共通の方法で計算されるようになります。

WHS の主な目的は、できるだけ多くのゴルファーがハンディキャップインデックスを取得・保持できる近代的なシステムを開発することです。競技ラウンドでもプライベートラウンドでも、ゴルファーは自身のハンディキャップインデックスを世界中に持ち運ぶことができ、他の国々のプレーヤーと公平に競い合うことができます。また、ハンディキャップインデックスを持っていれば、次のラウンドの目標スコアの目安も分かるようになります。

下記の表は、主な国々の WHS 導入時期の予定です：

移行時期*	国名
2020年1月	アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、メキシコ、パナマ、南アフリカ、韓国、アメリカ、ウルグアイ、ベネズエラ
2020年2月～4月	香港、スウェーデン、ニュージーランド
2020年6月～8月	ポルトガル
2020年9月～12月	英国およびアイルランド

WHS は、ハンディキャップ規則とコースレーティングで構成されています。ハンディキャップ規則は 7 つの規則で構成され、ゴルファーやハンディキャップ管理者に対して、ハンディキャップインデックスの計算方法と運用方法を説明しています。また、世界各国のゴルフ文化に適応するため、ある程度の柔軟性を備えた仕組みとなっています。コースレーティングシステムは、USGA コースレーティングシステムをベースとしています。USGA コースレーティングは、約 50 年前に開発されて以来、現在までにはほぼすべての大陸で採用されているシステムであり、コース難易度を判定する均一な尺度です。ハンディキャップ規則とコースレーティングシステムは、ゴルファーのハンディキャップインデックスを決定する基礎となります。

R&A チーフエグゼクティブのマーティン・スラマーズは、次のようにコメントしています。「ゴルフは、現代のゴルファーのニーズに応えるために変革しています。ルール近代化は、そのための重要な一歩であり、ワールドハンディキャップシステムは次なるステップです。」

「我々は、WHS の導入が変革を促進させるきっかけになってくれることを願っています。あらゆる技量のゴルファーを受け入れ、より一層多くの人々に訴えかけ、ゴルファーの関与が新しい時代に突入することを告げるのです。」

「変革はチャンスでもあります。正しく管理すれば、それはゴルフにとってまさに恩恵となります。新ルールを見て分かるように変化への順応期間は必要ですが、一度馴染んでしまえば、新しいシステムはゴルファーとゴルフ倶楽部に様々なメリットをもたらします。」

また、USGA の CEO マイク・デービスは、次のように述べています。「ゴルフ界が一致団結して取り組むことによって、誰もが恩恵を受けることができます。我々は過去何十年にも渡ってハンディキャップが、ゴルフをプレーするすべての人々に素晴らしい楽しみを提供してきたのを見てきました。世界統一のハンディキャップ規則によって、国境を越えてゴルファーが繋がるのです。この取り組みを通して、全世界が最高の恩恵を得られることに、我々は興奮しています。」

「これはゴルフの未来に対する様々な投資のひとつです。ゴルフ全体が、これからも未来永劫発展し続けられるようにするためです。」

WHS の開始に向けて、これまで 3,000 コース以上のゴルフ場が、初めてコースレーティング査定を受けました。また、教育セミナーも世界各地で開催しています。2019 年末までに、90 を超えるナショナル協会が教育セミナーに参加し、各地域での教育に必要な資料が WHS.com で提供されています。

ハンディキャップ規則書は、各協会に配布され、必要に応じて各国言語に翻訳されます。

また USGA と R&A は、個々のゴルファーに対する教育・PR 用素材（ビデオ、チラシ、ポスターなど）も用意しています。各ナショナル協会はこれらの素材を使用していただくことができます。

これらの素材の中には、できるだけ多くのゴルファーがハンディキャップを取得・保持してもらうためのプロモーションビデオが含まれ、これには、アニカ・ソレンスタム、ゲーリー・プレイヤー、および世界中の一般ゴルファーが出演しています。（ビデオは[こちら](#)でご覧頂けます。）

これらの素材は、以下を含む WHS の主要要素を説明しています：

- プレー形式の柔軟性：ハンディキャップインデックスが実証されたプレーヤーの技量を反映できるようにするため、競技ラウンドだけでなくプライベートラウンドのスコアもハンディキャップ査定に採用する。
- 新規ハンディキャップ取得に必要なスコア枚数：54 ホール分のスコアを提出すれば新規にハンディキャップインデックスを取得でき、これは 9 ホールスコア、18 ホールスコア、両者の組合せでも可。
- ハンディキャップインデックスの基本計算式は、最新 20 枚中のベストディファレンシャル 8 枚の平均。
- 異常な気象状況やコースコンディションがプレーに与える影響を考慮して、ハンディキャップ計算に組み込む。
- ホールスコアの上限はネットダブルボギーとする（ハンディキャップ査定のための上限）。
- ハンディキャップインデックスの上限は、男女一律で 54.0 とする（できるだけ多くのゴルファーがゲームを楽しめるように）。

2011 年、USGA と R&A は、ゴルファー数の拡大と公平性の向上（プレー場所にかかわらず）を目指して、ワールドハンディキャップシステムの構想に着手。既存ハンディキャップ制度を運営する世界 6 団体と一致団結することにより、世界中の様々なゴルフ文化やプレー方法に対応できるシステム開発をスタートしました。

2020 年より施行開始する WHS は、R&A と USGA による統括のもと、世界各地のナショナル協会と地区協会によって管理運用されます。

現在世界には、ゴルフ・オーストラリア、英国およびアイルランドのナショナルゴルフ連盟協議会（CONGU）、ヨーロッパゴルフ協会（EGA）、南アフリカゴルフ協会（SAGA）、アルゼンチンゴルフ協会（AGA）、および全米ゴルフ協会（USGA）の世界6団体が運用するハンディキャップ制度が存在し、これらの制度の下でハンディキャップを取得しているゴルファー総数は、世界80ヶ国・約1,500万人です。

ロレックスは、ゴルフ規則へのワールドワイドサポートの延長として、ワールドハンディキャップシステム導入に関するR&AとUSGAの取り組みをサポートしてくれています。ワールドハンディキャップシステムに関する更なる情報は、WHS.comにアクセスしてください。

以上。

R&Aについて

セントアンドリュースに本拠地を構えるR&Aは、The Open、主要なアマチュアイベントや国際マッチ、そしてランキングを運営しています。R&AはUSGAと共同してゴルフというスポーツを世界的に統括しており、それぞれ別の地域を管轄しながらも、ひとつのゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行することの責任を分かち合っています。R&AはR&Aルールズリミテッドを通じて、アメリカ合衆国とメキシコを除く全世界を管轄しており、156のアマチュアおよびプロフェッショナル団体の同意を得て、143ヶ国で3,600万人を超えるゴルファーのために活動しています。

R&Aはゴルフのための活動に取り組んでおり、国際的なゲームの発展および持続可能なゴルフ施設の開発と運営を支援しています。さらなる情報は、www.randa.orgにアクセスしてください。

USGAについて

USGAは、U.S. Open、U.S. Women's Open、U.S. Senior Openをはじめ、10試合のナショナルアマチュアチャンピオンシップおよび国際マッチを開催し、160を超える国々のプレーヤーやファンを魅了しています。R&Aと共にUSGAはゴルフというゲームを世界的に統括し、共同してゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行したり、世界アマチュアゴルフランキングを運営しています。グローバルに活動するUSGAは、アメリカ合衆国とその準州、およびメキシコを管轄しています。

USGAは、持続可能なゴルフコース運営方法の調査、開発、支援に関する世界的な権威団体のひとつです。またUSGAコースレーティングシステムおよびハンディキャップシステムは、世界6大陸で使用されています。さらなる情報は、www.usga.orgにアクセスしてください。